

2022 年大阪救助隊 沢搬出訓練報告書

担当: 岡林 絵里香(豊中勤労者山岳会)

日時: 2022年7月10日(日) 天気: 曇り

場所: 滝畑 千石谷

訓練内容: 沢登りの途中で足を負傷し自力歩行が困難になった為、応急手当を行った後、50メートルダブルロープを編みタンカを作り、要救助者を沢下流のヘリ搬出地点まで搬送する訓練。

参加者: 救助隊運営委員 10 名、一般参加者 14 名(奈良労山 2 名含む)

◆ タイムテーブル ◆

8:55	朝礼と班分け発表
9:00	応急手当講座
10:00	ロープ担架の練習
10:30	出合駐車場出発
11:15	事故現場到着 ロープ担架作製と担架用の立木選別
11:50	1P だけ救助隊による搬送のデモンストレーション
12:00	搬出開始(1 班 1P、2 班 2P から)
13:40	ヘリ搬出地点に到着
13:50	下山開始
14:05	出合駐車場到着
14:10	終礼 参加者全員の感想 隊長のメのあいさつ
14:35	解散

2018 年以來の 3 年ぶりに沢搬出訓練が開催できました。

前日の 9 日に救助隊運営委員 6 名で入渓地点、沢の状態、経路の確認とシュミレーションをし次の日に備えました。3 年ぶりにロープ担架を編むのに苦労しましたが、3 列で 2 マスごとに結び留めをするとロープがたるまず担架として使いやすい、担架の木は短すぎると使いづらく

2.5 メートルぐらいが最適だと確認できました。5 人で運ぶのは手が足りなすぎず、前後 1 名、左右 3 名の合計 8 名に指示するリーダーとで最低 9 名いる事も確認できま

した。

当日、出合駐車場で泉州労山の山下雅子さんによる応急手当講座では、三角巾を使った腕の固定と靴の上からの足首固定、さらにサムスプリントと包帯を使用した足首固定を練習しました。その後、ロープ担架の編み方を練習した後、一般参加者を 7 名ずつ分け、救助隊運営委員を振り分け、1 班 12 名、2 班 10 名の混合班で沢搬出訓練に挑みました。

偵察、ルート確認、シュミレーションを兼ねて荷物を要救助者が横になれる広い場所を探して置き、要救助者の元に戻り、荷物を置いた場所までリーダーが指示しながら担架で要救助者を運んでいく。





段差の激しい足元が悪い場所では真ん中の2名が先行して下に降り上で担架を送り出ししながら受け渡していく。1Pだけ救助隊運営委員だけで搬出のデモンストレーションをし、後のピッチを各班で搬出してもらいました。

平坦なところでも石がゴロゴロとしていて足元が悪い中、段差も乗り越え6ピッチで500メートル

ぐらい先のヘリ搬出地点まで要救助者を搬出することができました。

救助隊運営委員も参加者も3年ぶりの沢搬出で色々忘れていたことがあるので、やはり1年に最低1回はロープ担架や三角巾の練習をしておいた方が良いということ、そして何より、自分が搬出される側の要救助者になってはいけない、安全を常に意識していかなければならないという意見が多かったです。今回、参加していただいた皆様、お疲れ様でした。

